

HACCPクリエータ主な新機能のご紹介

HACCPクリエータ ver.3.0.0～ ver.3.1.0

各バージョンでの主な新機能一覧



iGrafx Origins(v17.7.0)

HACCPクリエイータ(Ver 3.0.0)新機能

1. ユーザーカスタマイズ機能
2. ISO22000:2018対応
3. ナンバリング機能の拡張
4. 危害分析状況の出力
5. OPRP/CCPの単票形式対応
6. デシジョンツリー機能
7. グループ管理機能
8. アレルギー危害図形
9. 危害図形の整列配置
10. 工程辞書機能
11. 属性コピー機能
12. 辞書の一括反映

iGrafx Origins(v17.8.0)

HACCPクリエイータ(Ver 3.1.0)新機能

- ・Windows11に対応
- ・Server製品 (iGrafx Platform)新バージョンに対応
- ・HACCPクリエイータの使用フォントを「Meiryo UI」に統一(図形・テンプレート書式)

1. HACCPクリエイータの追加機能

- ① 業務フローのパターン機能拡張(画面)
- ② 業務フローのパターン機能拡張(帳票)
- ③ 一括取込時の入力項目簡略化(ハザード分析表)

2. HACCPクリエイータ管理者キットの追加機能

- ①ハザード評価点算出方法の機能
- ②「帳票データ出力位置」画面変更
- ③帳票出力時の危害選択機能
- ④使用しない帳票の登録機能
- ⑤登録情報の辞書機能UP
- ⑥辞書データのファイル出力・取込機能
- ⑦図形パレットの初期表示設定
- ⑧図形パレットとテンプレートの複数登録

3. HACCPクリエイータオプション機能

- ①帳票「QC工程表」の追加



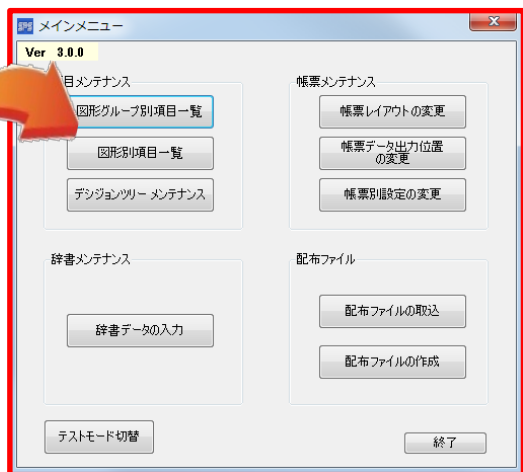
1. ユーザーカスタマイズ機能
2. ISO22000:2018対応
3. ナンバリング機能の拡張
4. 危害分析状況の出力
5. OPRP/CCPの単票形式対応
6. デシジョンツリー機能
7. グループ管理機能
8. アレルギー危害図形
9. 危害図形の整列配置
10. 工程辞書機能
11. 属性コピー機能
12. 辞書の一括反映

1. ユーザーカスタマイズ機能

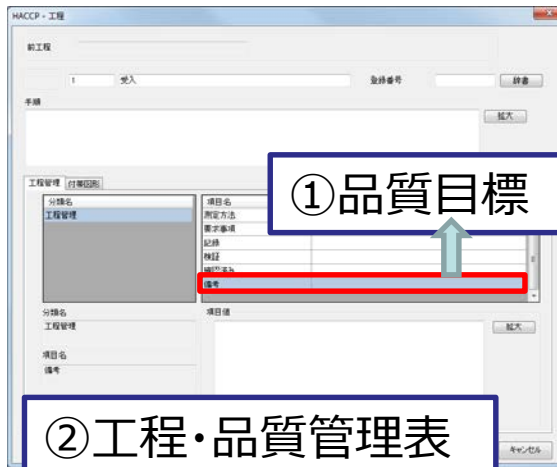


ユーザー様自身で、入力項目名の変更、選択項目の追加・変更・削除や帳票のタイトルや項目名の変更を行うことができるカスタマイズツール（HACCPクリエータ管理者キット）を追加しました。

HACCPクリエータ管理者キット



HACCPクリエータ画面



■ HACCPクリエータ管理者キットで画面上の項目名と出力帳票の項目名などが変更できます
例. 工程管理表で品質も管理する

会社・事業所											
部署											
サブシステム											
拠点											
図表識別	工程番号	工程名	手順	担当者	管理項目	管理基準	測定方法	要求事項	記録	検証	備考
test	1	受入									
	2	受入									
	3	受入									

2. ISO22000:2018対応



各画面の項目が『ISO22000:2018』に対応したものに変更されました。
旧バージョン（ISO22000:2005）で作成されたファイルを新バージョンで開くと、自動的にISO22000:2018に対応した項目で表示されます。

旧HACCPクリエータ (ISO22000:2005)	新HACCPクリエータ (ISO22000:2018)
7.4.2.1~2 ハザードの明確化	8.5.2.2.1~2 ハザードの特定
7.4.2.3 許容水準の決定	8.5.2.2.3 許容水準
7.4.3 ハザード評価	8.5.2.3 ハザード評価

Before



After

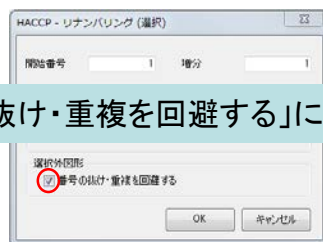
3. ナンバリング機能の拡張



任意の工程図形を選択し、右方向や下方向へのリナンバリングが1アクションで可能になりました。
それに合わせて選択外図形の番号も自動調整できます。
また、番号の増分数を設定できるようになりました。

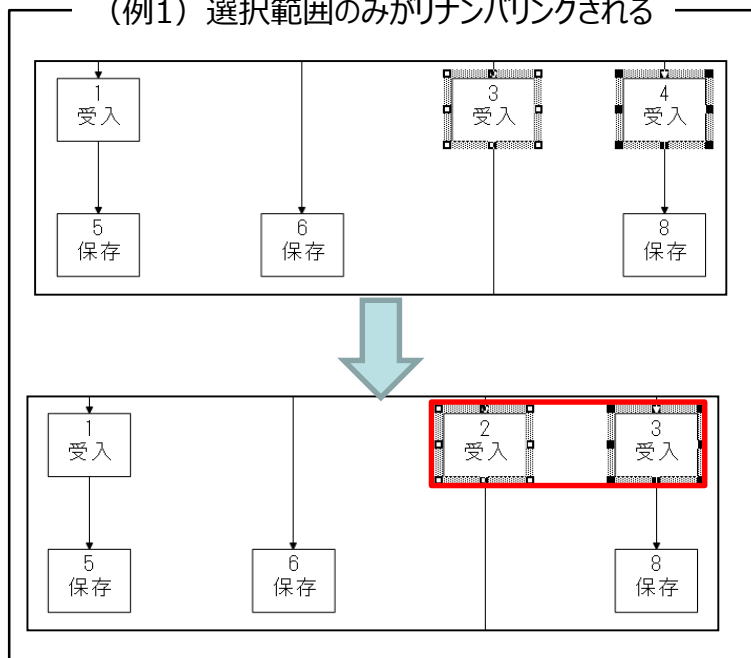
「番号の抜け・重複を回避する」にチェックを

外した場合

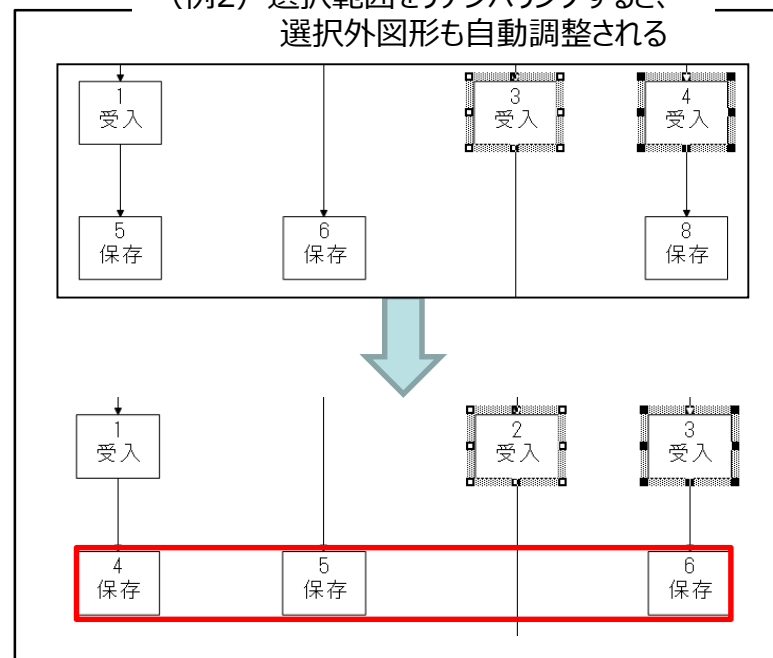


入れた場合

(例1) 選択範囲のみがリナンバリングされる



(例2) 選択範囲をリナンバリングすると、
選択外図形も自動調整される



4. 危害分析状況の出力



フローダイアグラムで危害図形を紐づけなくても、ハザード分析表で危害分析未済、もしくは危害分析済の結果を出力できるようになりました。

危害分析状況の出力（ハザード分析表）

図表識別	工程番号	工程名	図表識別	分類	登録番号	8.5.1.5.3 現存の管理手段	8.5.2.2.1 ハザードの特定	8.5.2.2.3 許容水準
test	1	受入	test	B1			原材料由来のボツリヌス菌の混入	
				C-			確認済(危害なし)	
				P-			確認済(危害なし)	
				A1				
				G1				

危害分析で危害がないことを確認済みの場合に「確認済(危害なし)」を出力できます

5. OPRP/CCPの単票形式対応



旧バージョンでは、OPRP/CCPプランは一覧表のみでしたが、単票形式でも出力できるようになりました。

OPRPプランの単票

図表識別		承認	確認	作成
ハザード管理プラン(OPRP)				
【文書情報】		名称		
会社-事業拠点				
事業				
プロセス				
サブプロセス				
製品				
【文書作成者情報-作成履歴】				
版番号				
作成者		作成日		
確認者		確認日		
更新者		更新日		
工程番号				
工程名称				
ハザードNo				
登録番号				
8.5.1.5.3 現存の管理手段				
8.5.2.2.1 ハザードの特定				

CCPプランの単票

図表識別		承認	確認	作成
ハザード管理プラン(CCP)				
【文書情報】		名称		
会社-事業拠点				
事業				
プロセス				
サブプロセス				
製品				
【文書作成者情報-作成履歴】				
版番号				
作成者		作成日		
確認者		確認日		
更新者		更新日		
工程番号				
工程名称				
ハザードNo				
8.5.1.5.3 現存の管理手段				
8.5.2.2.1 ハザードの特定				
8.5.2.4 管理手段				

6. デシジョンツリー機能



HACCPクリエータ管理者キットで有効化することで、デシジョンツリー形式で管理手段が自動選定できるようになりました。
自動選定された後に、管理手段を手動で変更することもできます。

危害図形のデシジョンツリー

HACCP - 化学危害

工程名

C 1 登録番号 録書

8.5.2.1 ハザードの特定 拡大

8.5.2.3 ハザード評価 8.5.2.4 管理手段の選択及び分類 | 8.5.4.2 許容限界及び処置基準の決定 | 8.5.4.3 モニタリングシステム | 8.5.4.4 許容限界逸脱時の対応

分類名	項目名	項目値
8.5.2.3 ハザード評価	8.5.2.3 ハザード評価(その他)	
8.5.2.4 管理手段の選択及び分類	8.5.2.4.1 管理手段の評価	
	8.5.2.4.2 管理手段の評価	
	8.5.2.4 管理手段の選択及び分類	
	デシジョンツリー	PRP
	管理手段(デシジョンツリー結...	

分類名

8.5.2.3 ハザード評価 8.5.2.4 管理手段の選択及び分類

項目名

デシジョンツリー

最大文字数 0

項目値

No.	質問	回答
1	質問1. この工程又は以降の工程に確認されたハザードに対する管理手段はあるか...	はい
2	質問2. この工程は発生する恐れのあるハザードを除去又は許容レベルまで低下...	いいえ
3	質問3. 確認されたハザードが許容レベルを超えるか、又は限度を超えて増加する...	はい
4	質問4. 以降の工程は、確認されたハザードを除去又は許容レベルまで低下させ...	はい

結果値 PRP

回答の入力

OK キャンセル

HACCP

これまでの回答結果

No.	質問	回答
1	質問1. この工程又は以降の工程に確認されたハザードに対する管理手段はあるか...	はい

次の質問

質問2. この工程は発生する恐れのあるハザードを除去又は許容レベルまで低下させるために特に設計されたものか？

はい

いいえ

戻る

キャンセル

7. グループ管理機能

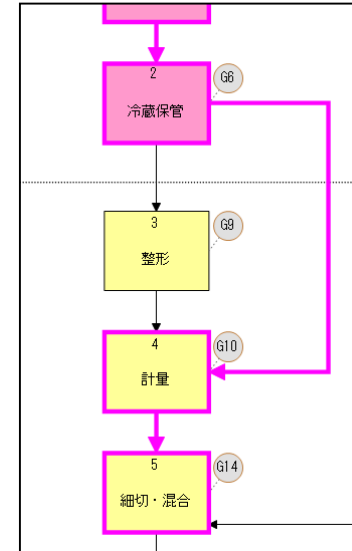


1つの製造工程で複数の製品を製造している場合について、1つのフローダイアグラムに、製品ごとに工程パターンを設定し、そのパターンごとにハザード分析表を作成することができます。また、納品先提出用や社内監査、第三者審査などでハザード分析表などを使い分けることができます。

①パターンを定義

②パターンに工程を紐づけ

③フローダイアグラムで確認



ハザード分析表

図表識別	工程番号	工程名	図表識別	分類	登録番号	8.5.1.5.3 残存の管理手段	8.5.2.2.1 ハザードの特定	8.5.2.2.3 許容水準	8.5.2.3 ハザード評価					
									発生 頻度	重 篤度	評 価 値	その他		
test	1	受入	test	B1			原料由来のボツリヌス菌の混入 確認済(発生なし) 確認済(発生なし)							
				B2										
				B3	検査A-1	温度検査	品質 入荷時検査	4	2	9				
				B4			確認済(発生なし) 確認済(発生なし) 確認済(発生なし)							
				B5			確認済(発生なし) 確認済(発生なし)							
				B6	検査C-1	温度記録	温度異常 経度確認	0-4℃	4	3	12			
				B7			本確認							
				B8			本確認							
				B9	検査D-1	計量記録	計量間違い	正確な計量	5	5	25			

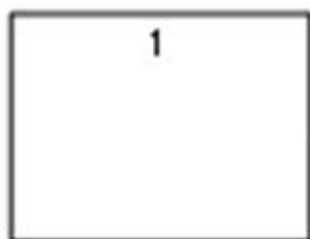
④任意のパターンで帳票を出力

8. アレルギー危害図形



危害図形に『アレルギー危害』図形を追加しました。

■他の危害図形と同様に、工程に紐付けして使います



分類名	項目名	項目値
0.5.2.3 ハザード評価 0.5.2.4 管理手段の選択及び分類	0.5.15.3/0.5.2.4 管理手段	
	0.5.2.2.3 許容水準の有無	
	0.5.2.2.3 許容水準	
	0.5.2.3 ハザード評価(発生頻度)	
	0.5.2.3 ハザード評価(量/濃度)	
	0.5.2.3 ハザード評価(評価点)	
	0.5.2.3 ハザード評価(その他)	

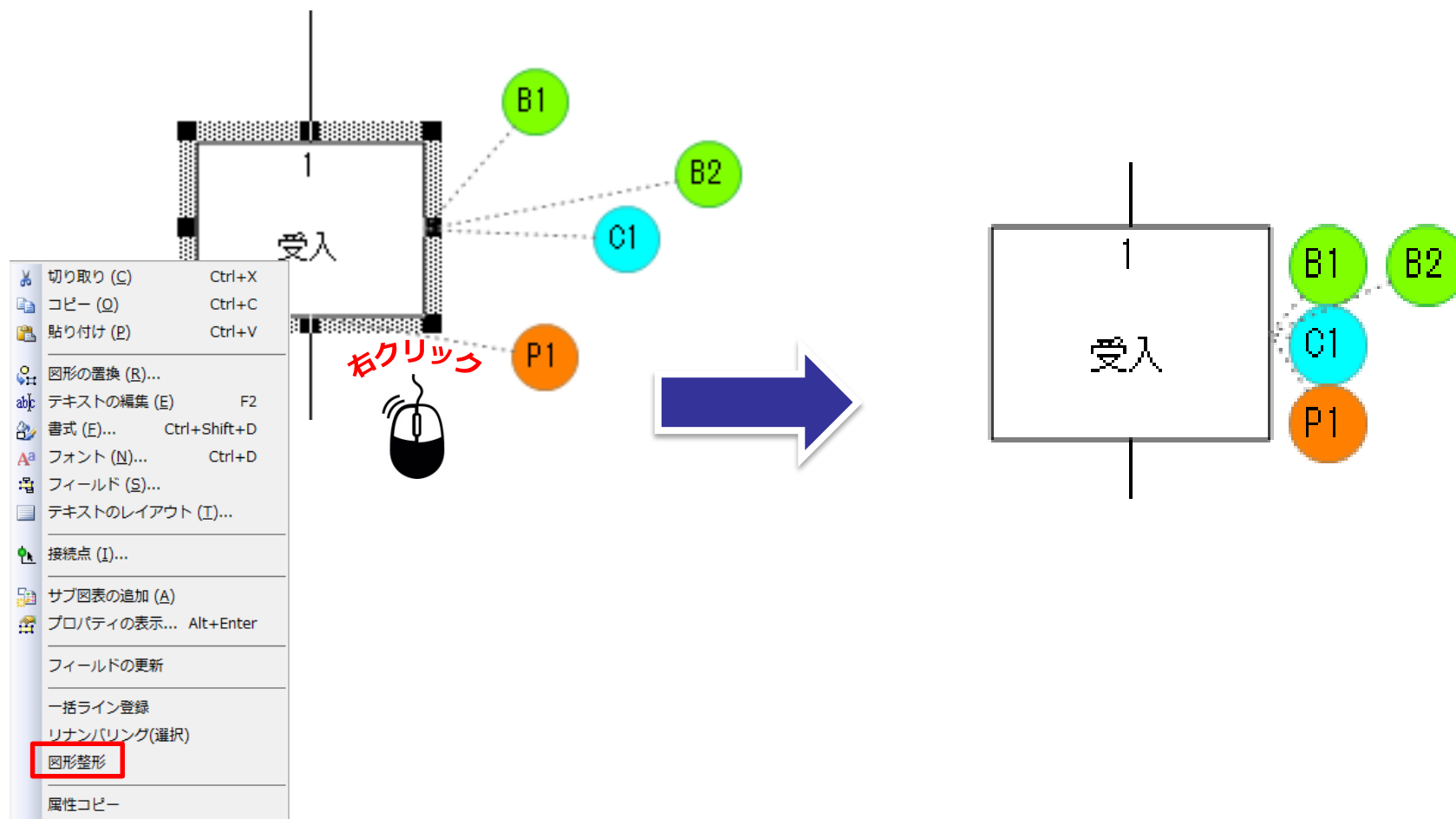
図形パレット

- 原材料[HCP]
- 再利用・アウト一般区域[HCP]
- 汚染区域[HCP]
- 準清潔区域[HCP]
- 清潔区域[HCP]
- 生物危害[HCP]
- 化学危害[HCP]
- 物理危害[HCP]
- 品質[HCP]
- 統合危害[HCP]
- アレルギー危害**[HCP]
- 検証[HCP]
- 廃棄物
- 接続

9. 危害図形の整列配置



工程図形に設定された危害図形を再配置し整列させる機能を追加しました。

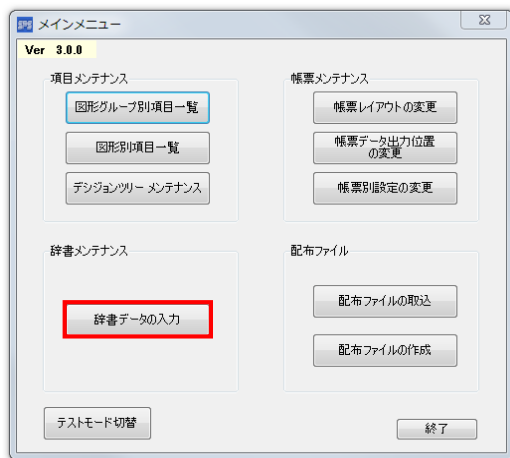


10. 工程辞書機能



配布ファイルを取り込むことで、危害図形の辞書と同様に、工程図形にも辞書機能が使えるようになりました。

■ 辞書機能は「HACCPクリエータ管理者キット」から設定します



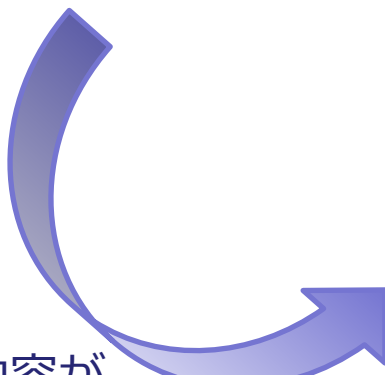
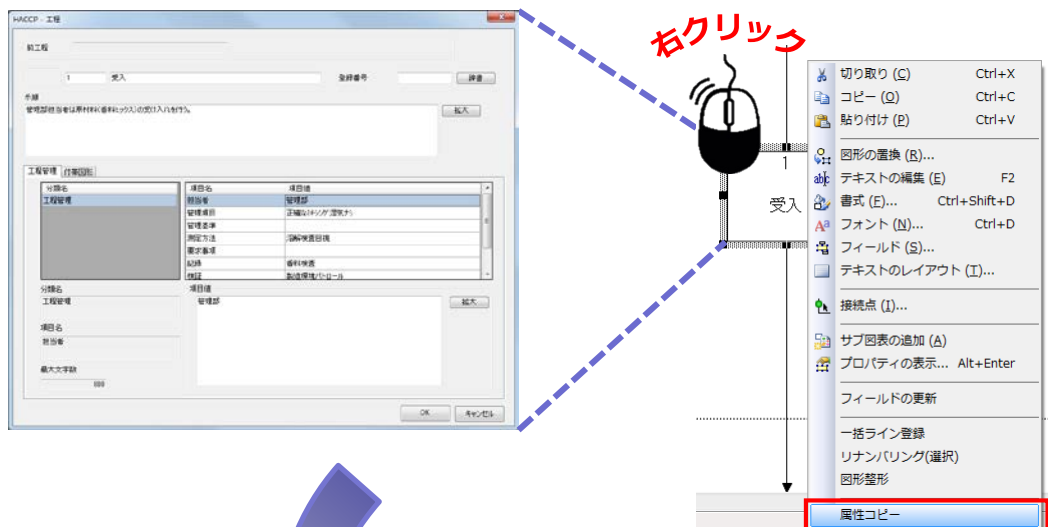
■ 工程図形の詳細情報から辞書を表示できます



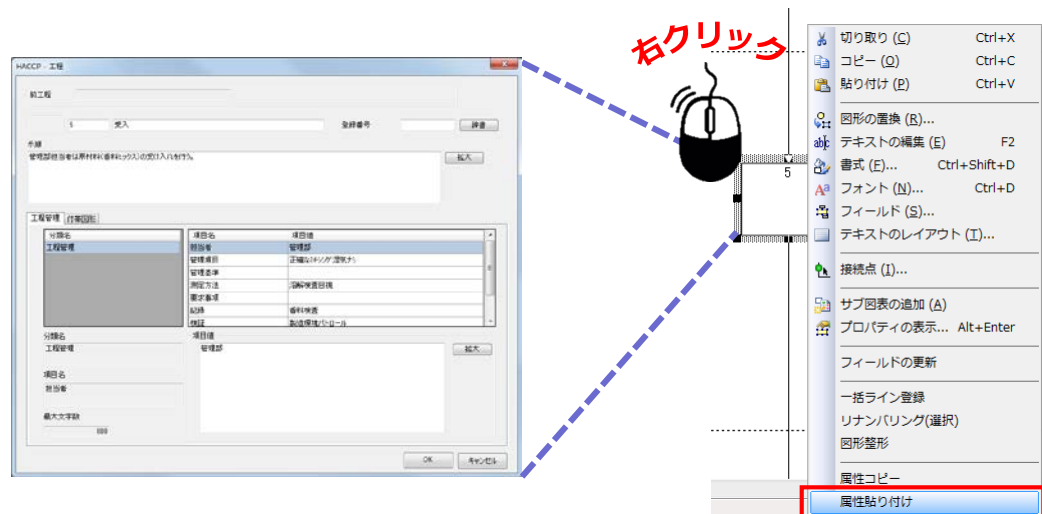
11. 属性コピー機能



工程図形及び危害図形の属性内容を他の図形にコピーできる機能を追加しました。



図形の属性内容が
コピーされます。



12. 辞書の一括反映



辞書の内容を変更した際に、HACCPクリエータ画面に設定されている項目を上書き変更（一括反映）できる機能を追加しました。

【変更前】

9 加熱 登録番号 工程9 辞書

手順
管理部担当者は各種混合したウイナを加熱室で加熱する。

拡大

工程管理 付帯図形

分類名	項目名	項目値
工程管理	担当者	管理部
	管理項目	温度
	管理基準	72℃以上
	測定方法	中心温度計
	要求事項	
	記録	調理記録
	検証	・原材料の内部細菌検査・製品の内部細菌検査・製品の外部公...

HACCP(D) ヘルプ(H)

- 文書情報(D)
- 文書情報一覧(L)
- 図形情報一覧(S)
- 外部リンク一覧(I)
- リナビリング(N)
- 整合性チェック(I)
- 表示情報の更新(E)
- 帳票出力(M)
- 一括取込(X)
- 辞書反映(Q)**
- パターンメンテナンス(P)
- パターンライン設定(E)
- パターン強調表示(H)
- バージョン情報(V)

【変更後】

9 加熱 登録番号 工程9 辞書

手順
管理部担当者は各種混合したウイナを加熱室で加熱する。
※チーズ入りはAブロック、焼製はBブロックを使用し、他の製品は使用不可。

拡大

工程管理 付帯図形

分類名	項目名	項目値
工程管理	担当者	製造管理部
	管理項目	温度、細菌
	管理基準	72℃以上76℃以下
	測定方法	中心温度計(毎週末に校正を実施)
	要求事項	全ての製品において、内部まで十分に加熱され内部細菌が死滅し...
	記録	調理記録
	検証	・原材料の内部細菌検査・製品の内部細菌検査・製品の外部公...

辞書内容に変更のある配布ファイルを取り込み、「HACCP」メニューより「辞書反映」を選択します。





1. HACCPクリエイータの追加機能

- ① 業務フローのパターン機能拡張(画面)
- ② 業務フローのパターン機能拡張(帳票)
- ③ 一括取込時の入力項目簡略化 (ハザード分析表)

2. HACCPクリエイータ管理者キットの追加機能

- ①ハザード評価点算出方法の機能
- ②「帳票データ出力位置」画面変更
- ③使用しない帳票の登録機能
- ④帳票出力時の危害選択機能
- ⑤登録情報の辞書機能UP
- ⑥辞書データのファイル出力・取込機能
- ⑦図形パレットの初期表示設定
- ⑧図形パレットとテンプレートの複数登録

3. HACCPクリエイータオプション機能

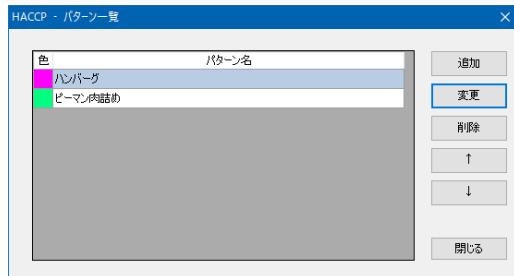
- ①帳票「QC工程表」の追加

1-1 業務フローのパターン機能拡張(画面)

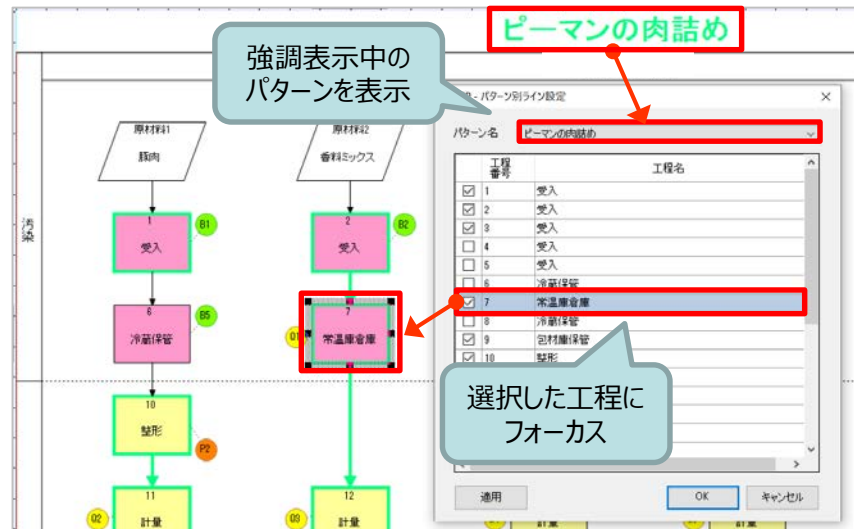


1つのフロー上でパターンごとの工程が見やすくなりました。

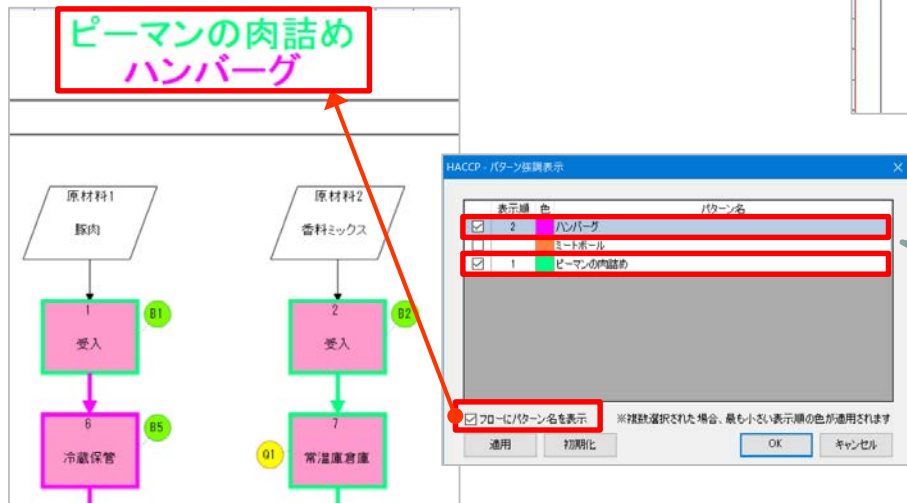
パターンで色分け・並び順設定



パターン強調表示中の画面操作向上



パターン名表示



※同時に強調表示可能なパターンは5つまで

1-2 業務フローのパターン機能拡張(帳票)



登録したパターンから複数の工程をまとめて出力することができます。

パターンでまとめて出力

帳票フォーマット
出力フォーマット 工程管理表.xls

帳票名称
 工程管理表

パターン名 ハンバーグ

出力条件
図形種別

出力ファイル
 C:\Users\Desktop\工程管理表_01-01-01-10ハンバーグ.xlsx
 自動保存しない

OK キャンセル

出力ファイル名にパターン名を自動で追加



図表識別	工程番号	工程名	手順	担当者	管理項目	管理基準
01-01-01-10	1	受入	管理部担当者は原材料(豚肉)の受け入れを行う。	管理部	鮮度,異物	
	2	受入	管理部担当者は原材料(香料ミックス)の受け入れを行う。	管理部	正確なミキシング,湿度,タン	
	6	冷蔵保管	管理部担当者は原材料(豚肉)を荷台に載せた上で冷蔵庫へ運搬し、保管する。	管理部	温度	
	7	常温庫倉庫	管理部担当者は原材料(香料ミックス)を荷台に載せた上で倉庫へ運搬しする。	管理部	香料保管庫	
	10	整形	管理部担当者は原材料(豚肉)をから運び出し、整形を実施する。			
	11	計量	管理部担当者は整形した豚肉を計量する。			
	15	細切・混合	管理部担当者は豚肉を細切し、水、香料ミックスと混合する。	管理部	肉質,機械汚染,水分	

調理～包装工程までを製品パターンで出力

帳票「パターンマトリクス」

フローに登録されたパターンと含まれる工程のマトリクス表

工程		パターン				
		ハンバーグ	ミートボール	ビーマンの肉詰め		
01-01-01-10	1	受入	管理部担当者は原材料(豚肉)の受け入れを行う。	○	○	○
	2	受入	管理部担当者は原材料(香料ミックス)の受け入れを行う。	○	○	○
	3	受入	管理部担当者は原材料(米)の受け入れを行う。			○
	4	受入	管理部担当者は原材料(羊羹)の受け入れを行う。			
	5	受入	管理部担当者は原材料(包材)の受け入れを行う。			
	6	冷蔵保管	管理部担当者は原材料(豚肉)を荷台に載せた上で冷蔵庫へ運搬し、保管する。	○	○	
	7	常温庫倉庫	管理部担当者は原材料(香料ミックス)を荷台に載せた上で倉庫へ運搬し、保管する。	○		○
	8	冷蔵保管	管理部担当者は原材料(羊羹)を荷台に載せた上で冷蔵庫へ運搬し、保管する。			
	9	包材庫保管	管理部担当者は原材料(包材)を荷台に載せた上で包材庫へ運搬し、保管する。			
	10	整形	管理部担当者は原材料(豚肉)を冷蔵庫から運び出し、整形を実施する。	○	○	○
	11	計量	管理部担当者は整形した豚肉を計量器で計量する。	○	○	○
	12	計量	管理部担当者は原材料(香料ミックス)を計量器で計量する。		○	○
	13	計量	管理部担当者は原材料(米)を計量器で計量する。			

1-3 一括取込時の入力項目簡略化(ハザード分析表)



EXCEL「ハザード分析表」で行を追加して危害図形を増やしたい場合は、非表示列の項目を入力しなくても一括取込できます。

※但し、図表識別、工程番号、危害No. (分類) は入力必須です。

出力したEXCEL帳票の編集
(行の挿入)

図表識別	工程番号	工程名	分類	辞書グループID	登録番号
	25	保管	B15		
	26	出荷	B16		

必要な項目をEXCELに入力

図表識別	工程番号	工程名	分類	辞書グループID	登録番号
	25	保管	B15		
01-01-01-01-10	25	保管	B17		
	26	出荷	B16		

編集したEXCELファイルの一括取込

指定された帳票を基に、文書および図形情報データを取込みます。

2-1 ハザード評価点算出方法の機能



評価マトリクスを登録して、ハザードの評価点算出ができます。(JFS-B規格)

管理者キット

図形グループ別項目一覧

図形グループ項目

項目タイプ: クロスマトリクス

マトリクスの設定

クロスマトリクス入力

軸とする項目を選択してください

X軸(横): 8.5.2.3 ハザード評価(発生頻度)

Y軸(縦): 8.5.2.3 ハザード評価(重篤度)

	1	2	3	4	5
1	1	2	4	9	11
2	3	5	7	12	16
3	6	8	13	17	20
4	10	14	18	21	21
5	15	19	22	24	25

マトリクスの縦軸、横軸の項目を決定し、項目に該当する評価点を登録します。

クロスマトリクス入力

軸とする項目を選択してください

X軸(横): 8.5.2.3 ハザード評価(発生頻度)

Y軸(縦): 8.5.2.3 ハザード評価(重篤度)

	1	2	3	4	5
1	1	2	3	4	5
2	高	高	中	中	低
3	2	3	4	5	6
4	OO	P	R	S	T
5	4	5	6	7	

四則演算による評価点
マトリクスによる評価点

項目名	項目値
8.5.2.3 ハザード評価(発生頻度)	4
8.5.2.3 ハザード評価(重篤度)	2
8.5.2.3 ハザード評価(評価点)	8
8.5.2.3 ハザード評価(評価点)マトリクス	12

数値以外にも
入力可能です

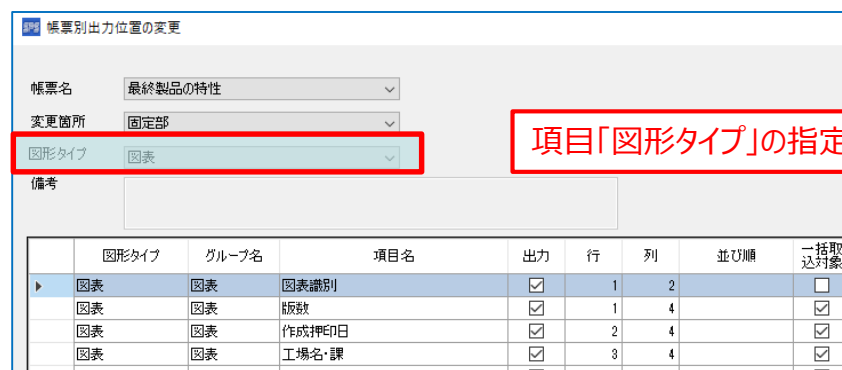
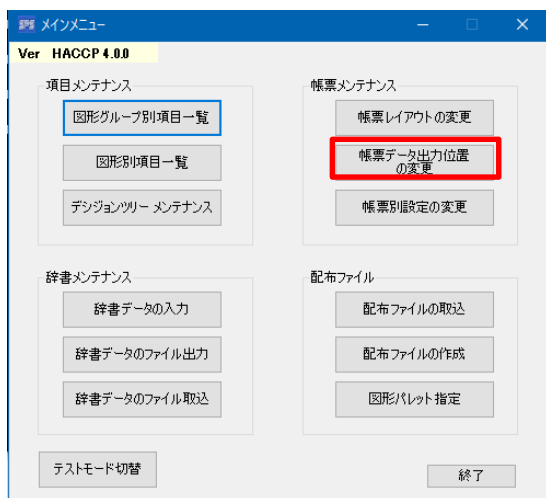
項目名	項目値
8.5.2.3 ハザード評価(発生頻度)	2
8.5.2.3 ハザード評価(重篤度)	2
8.5.2.3 ハザード評価(評価点)	4
8.5.2.3 ハザード評価(評価点)マ...	高

2-2 「帳票データ出力位置」画面変更



図形タイプのドロップダウンが無くなりました。

管理者キット



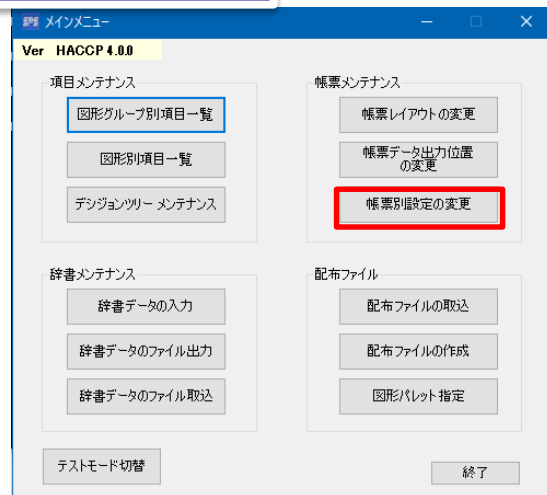
項目「図形タイプ」の指定不要

2-3 帳票出力時の危害選択機能



ハザード分析表、ハザード管理プラン、ハザード管理プラン単票に出力する危害図形を選択できます。
例えば、B(生物)C(化学)A(アレルギー)のみハザード分析表に出力する、といったことが可能になります。

管理者キット



危険の出力			発生しない危険の出力	
出力※1	Prefix	名称	出力※2	出力する文字列
<input checked="" type="checkbox"/>	B	生物危害	<input checked="" type="checkbox"/>	B-
<input checked="" type="checkbox"/>	C	化学危害	<input checked="" type="checkbox"/>	C-
<input checked="" type="checkbox"/>	P	物理危害	<input checked="" type="checkbox"/>	P-
<input checked="" type="checkbox"/>	Q	品質	<input type="checkbox"/>	Q-
<input checked="" type="checkbox"/>	G	統合危害	<input type="checkbox"/>	G-
<input checked="" type="checkbox"/>	A	アレルギー危害	<input type="checkbox"/>	A-

※1 ハザード分析表・ハザード管理プラン表・ハザード管理プラン単票に出力されます。
※2 ハザード分析表に出力されます。

- 1.「危害の出力」列(青枠)では
ハザード分析表
ハザード管理プラン
ハザード管理プラン単票
に出力する危害情報を指定します。
- 2.「発生しない危害の出力」列
(緑枠)では
発生しなくても常に帳票に
出力したい危害情報を指定します。

2-4 使用しない帳票の登録機能



使用しない帳票を登録することができます。
登録した帳票は帳票出力画面で表示されなくなります。

管理者キットで登録

出力制御 使用しない帳票の設定

使用しない帳票を選択してください

<input type="checkbox"/>	製品の特性.xls
<input type="checkbox"/>	工程管理表.xls
<input type="checkbox"/>	ハザード分析表.xls
<input type="checkbox"/>	ハザード管理プラン表.xls
<input type="checkbox"/>	ハザード管理プラン単票.xls
<input checked="" type="checkbox"/>	確証プラン.xls
<input type="checkbox"/>	パターンマトリクス.xls

使用しない帳票を登録

帳票フォーマット

出力フォーマット 製品の特性.xls

<input checked="" type="checkbox"/>	最終製	製品の特性.xls
<input checked="" type="checkbox"/>	原材料	工程管理表.xls
		ハザード分析表.xls
		ハザード管理プラン表.xls
		ハザード管理プラン単票.xls
		パターンマトリクス.xls

帳票出力画面に表示されなくなります

パターン名

2-5 登録情報の辞書機能UP



登録情報を辞書グループIDを使ってグルーピングすることができます。

グルーピングした辞書グループIDを使うことで、呼び出し登録時に絞り込みを行うことができます。

管理者キットで登録

保存 キャンセル

図形名 作業

※辞書データの保存は、選択中の図形に対してのみ行われます。(データ保存は図形毎に別々に行う必要があります。)

辞書グループID DIC_G1

	辞書グループID	作業名	タイプ	作業の詳細内容	登録番号	入力作成資料/データ	アウトプット作成元資料/データ	参照すべき規定/マニュアル	周期・件数	作業時間	作業担当者	備考	作業判断の必要性
1	DIC_G1												
▶ 2	DIC_G1												

辞書グループIDに分けて登録

入力画面で呼出

HACCP - 工...

前工程 受入

2 添付保管

手順

辞書グループ番号 辞書

登録番号

工程管理 付帯図形

分類名	項目名	項目値
工程管理	担当者	
	管理項目	
	管理基準	
	測定方法	
	要求事項	
	記録	
	検証	

分類名 工程管理

項目名 担当者

最大文字数 800

OK キャンセル



BPR+ - 辞書データ一覧

辞書グループID DIC_G1

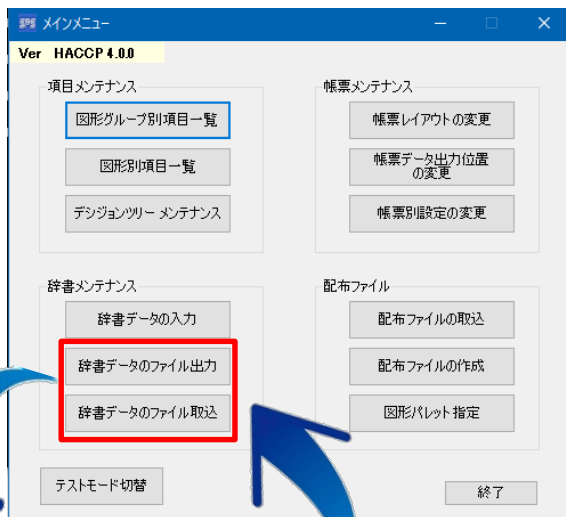
	辞書グループID	作業名	タイプ	作業の詳細内容	登録番号	入力作成資料/データ	アウトプット作成元資料/データ	参照すべき規定/マニュアル	周期・件数	作業時間	作業担当者	備考	作業判断の必要性
1	DIC_G1				111								
▶ 2	DIC_G1				112								

辞書グループIDによる
絞り込み

2-6 辞書データのファイル出力・取込機能



登録辞書データをEXCELファイルに出力することができます。
またEXCELで編集したデータを取り込みすることができます。



出力

EXCEL上で編集

取込

辞書グループID	工程名	手順	登録番号	担当者	管理項目	管理基準	測定方法	要求事項	記録	検証	確認済み	備考
MPO01	受入	担当者は原材料の受け入れを行う。	001	管理部	鮮度・異物		表面温度計		検収記録	落下塵検査		
MPO01	冷蔵保管	担当者は冷蔵庫へ運搬・保管する。	002	管理部	温度		庫内自動記録温度計		自動記録	落下塵検査		
MPO01	常温庫倉庫	担当者は倉庫へ運搬・保管する。	003	管理部	温度		庫内自動記録温度計		自動記録	落下塵検査		
MPO01	包材庫保管	担当者は包材庫へ運搬・保管する。	004	管理部	温度		庫内自動記録温度計		自動記録	落下塵検査		
MPO01	計量	担当者は計量器で計量する。	005	管理部	正確な計量		次工程での確認		調理記録	落下塵検査		

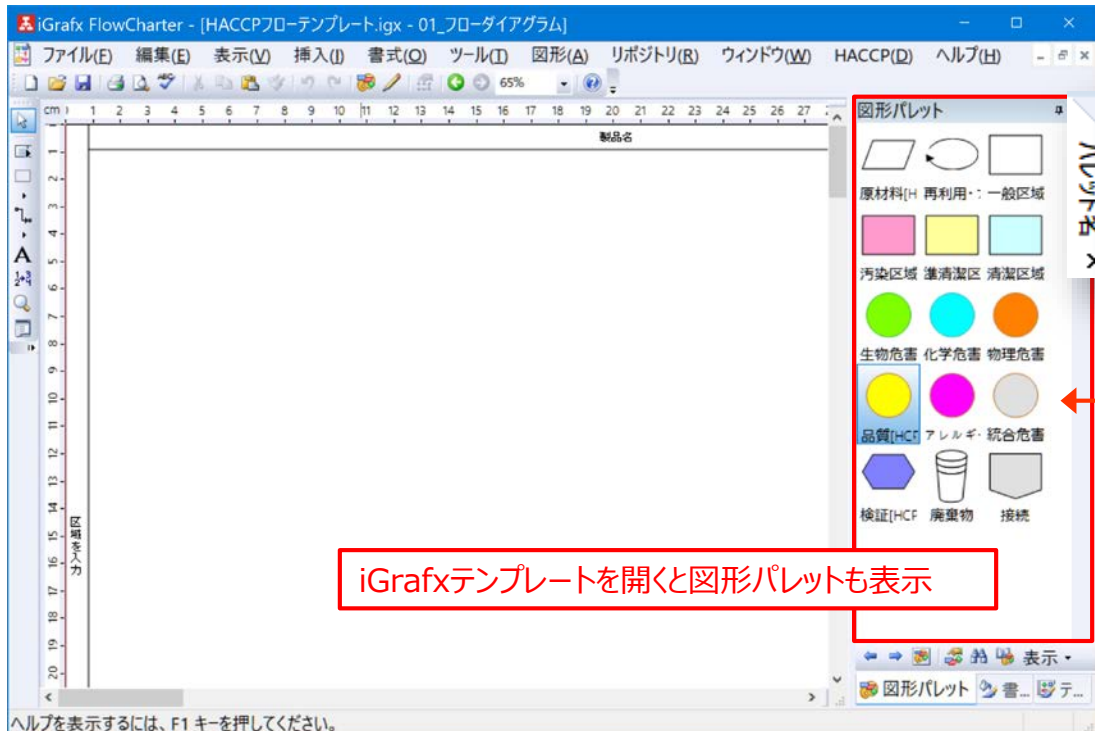
図形ごとにシートが出力

2-7 図形パレットの初期表示設定

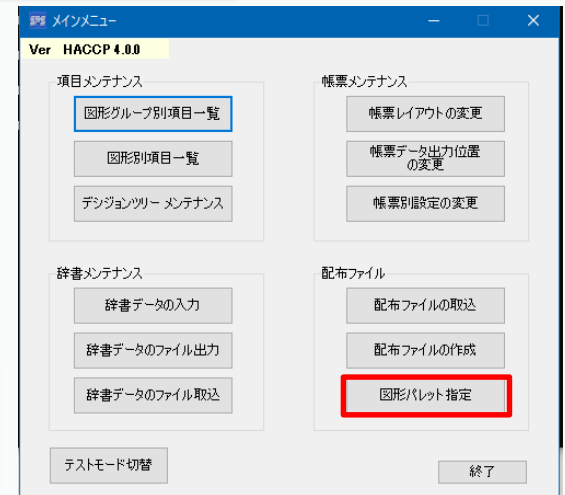


iGrafxテンプレートを開いた時に表示する図形パレットを指定することができます。

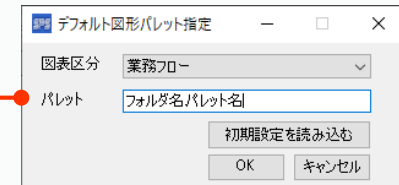
管理者キット



iGrafxテンプレートを開くと図形パレットも表示



使用する図形パレットを設定



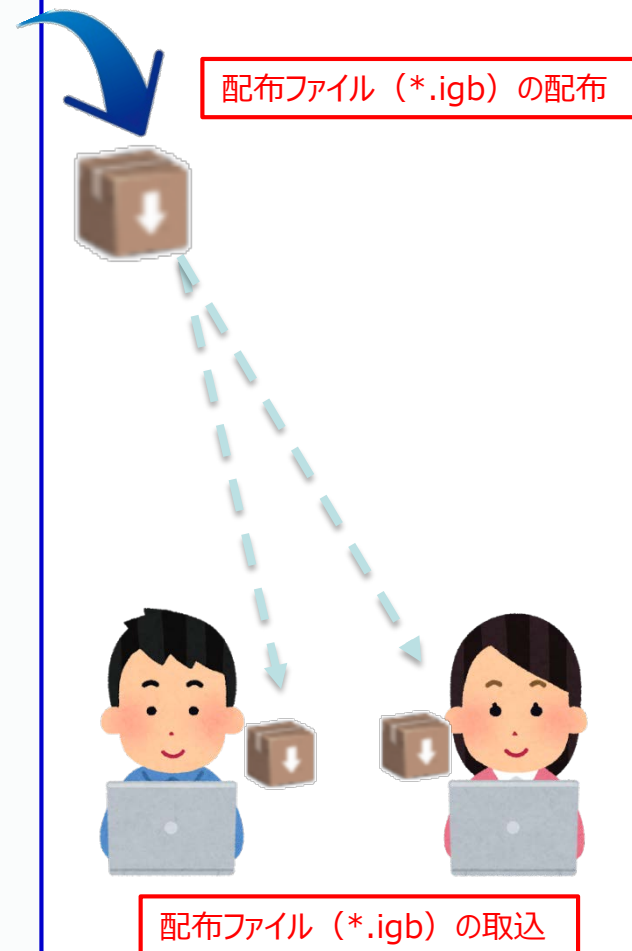
2-8 図形パレットとテンプレートの複数登録



目的に応じた複数の図形パレットやテンプレートをひとつの配布ファイルにまとめて、メンバーに渡すことができます。

図形パレット

iGrafxテンプレート



3-1 帳票「QC工程表」の追加



QC活動を行うために「QC工程表」を使って、作業工程に関する品質管理情報などを管理することができます。管理工程と、工程に紐づけられている品質図形の内容を一覧で出力できます。

帳票「QC工程表」

会社・事業拠点	A社
事業	第二工場
プロセス	
サブプロセス	
製品	Eライン

QC工程表

作成者	田中
作成日	2022年1月26日
承認者	佐藤
承認日	2022年1月26日
最終更新者	田中
最終更新日	2022年1月26日

図表識別	工程番号	工程名	担当者	分類	ハザードの特定	品質						記録	異常の処置	引用規格 関連文書	備考
						管理項目		管理方法		測定者	責任者				
						管理特性	管理基準	測定方法	測定頻度						
test2	1	半田付け	製造部	01		半田ゴテ温度	〇〇±〇度	コテサキ温度計	2回/日	作業者	作業長	コテサキ温度管理表			異常処置基準
						半田付け状態	照度〇〇±〇LX	照度計	月1回	作業者	作業長	照度記録管理表			
test2	2	半田付け検査	製造部	03		半田付け状態	視力1.0以上	目視	全数	作業者	作業長	不良修理表			
test2	3	ねじ締め	製造部	04		トルク	〇〇±〇kgf	トルクチェッカー	2回/日	作業者	作業長	トルク力記録管理表			
						湿度	〇〇±〇度	気温計	2回/日	作業者	作業長	温度湿度記録管理表	異常処置基準		



※配布ファイルでの提供となります。
(オプション機能)





SPS

<https://igrafx.info/>